



発行 **広島市立安佐市民病院**
 〒.731-0293
 広島市安佐北区可部南二丁目 1-1
 TEL:082-815-5211 (代)
<http://www.asa-hosp.city.hiroshima.jp>



「よろしくお願いたします」
 スタッフ一同、

あなたに新しく赴任した病院職員も、今まで同様に患者様と良好なコミュニケーションを保ちながら最善の医療を提供してまいります。

新しい主治医は変わっていませんか？
 あなたの担当医は変わっていませんか？
 引継ぎはうまくなされていますか？
 このたび新しく赴任した病院職員も、今まで同様に患者様と良好なコミュニケーションを保ちながら最善の医療を提供してまいります。

4月は退職・新入、転勤・異動の時期です。安佐市民病院の医師や医療スタッフも大幅に異動しています。

あなたの主治医は変わっていませんか？



安佐市民病院の理念と基本方針

理念

- ・地域の基幹病院として高度の医療・ケアを行います。
- ・愛と誠の精神をもって医療を提供します。

基本方針

1. 患者さまの立場を尊重し、理解と納得にもとづいた医療を行います。
2. 安全な医療と快適な療養環境の提供に努めます。
3. 地域と連携し、地域医療、救急医療、トータルケアの水準の向上に努めます。
4. 最新の医療にとりくみ、医療・医学の進歩に貢献します。
5. より良い医療サービス提供のため、健全な病院運営に努めます。

地域のみなさまと共に

広島市立安佐市民病院 第一回 **健康祭り**

H16年5月22日(土曜日)
 午前10時～午後2時

会場 安佐市民病院 東側駐車場
 (雨天時: 2階WAPセンター)

よろず健康相談コーナー
 薬・歯・禁煙・育児
 健康体操・栄養
 健康チェックコーナー
 各種体験コーナー
 車椅子・聴診器・救急蘇生
 救急車見学・ナースに変身
 パザー 新鮮野菜市
 手作りクッキー
 作品展示即売会

お車でお越しの方は
 病院内の第二駐車場を
 ご利用ください

会場内でスタンプを集めて
 参加賞ゲット!

5月22日土曜日、当院では「第一回健康祭り」を行います。地域の皆様との手作りのささやかなお祭りです。上図の案内の通り、健康よろず相談、体験コーナーもあります。

日頃病院とは縁のない方、この機会に今一度、私たち医療スタッフと一緒にあなたの健康を考えてみませんか？ 救急車もくるよ……

栄養サポートチーム (NST)

新しいチーム医療による栄養パトロールで、
バイバイキーン!

栄養サポートチーム委員長 山下芳典

【医食同源】

「医食同源」とは、病気を治すのも食事をするのも、生命を養い健康を保つためその本質は同じだということです。

昨今、新しい抗生物質や抗がん剤が注目を浴び、もはやされる傾向にありますが実は基本となる大事な栄養管理が見過されています。

【食べるよほどばい菌侵入の防止】

栄養不良は、全病を増やし、生活の満足度を下げ、肝心の病気の治療効果を下げているのだ。「よく当たり前のこと」で、これに関しては多くの証拠があります。そのひとつとして「食べるよ」は、ばい菌の侵入を防ぐのに大変大きな役割を果たしています。人間は、ずっと口食べないでいると腸粘膜は薄くなってしまいます。消化管をしっかりと腸管の粘膜は健康に保たれ、ばい菌に対してバリアーの役目をしていきます。

点滴をすれば病気はよくなる、勘違いされる栄養管理がよくいわれています。もちろん、食べれないときは点滴による栄養管理も大切ですが、点滴が長期継続と確実にばい菌にもよる危険性は増大しているのです。

病気がよくなるだけでなく、ばい菌にも侵され、そのため入院期間が長くなり、たくさんの治療費を払わなければならないなんて信じられますか？日本の医療現場では本当によく見られる光景なのです。

【栄養サポートチームの活躍】

そこで当院では平成15年5月より栄養サポートチーム(NST)を結成し、医師、看護師、薬剤師、栄養士、検査技師、言語聴覚士からなる新しいチーム医療を実践しています。

このNSTは欧米では大きな病院の約半数に設置されていますが、日本ではまだ少数の施設にしかありません。「食べるよ」の大切さを信じてメンバーは毎週病棟回診を行い、患者様の栄養不良を自覚できないように、また間違った栄養管理をしないように見張って活動しています。具体的には、飲み込むことが苦手な患者様には症状に合わせて食事を変え、とにより食べれるようになります。

また、何ヶ月も点滴だけで管理されていたところ、胃内視鏡を用いた簡単な処置でお腹に「第2の口」を作り、そこから食事を入れるだけで顔の色艶はよくなり、あっといふ間に病院を退院するようになったのです。

【NSTは栄養のおまわり屋】

NSTのようなチーム医療のいいところは、異なった職種の間メンバーが違った角度から意見を出し合い、効果的な栄養療法を提供できることです。いわばたくさん目の目を持った病院内の栄養のおまわり屋です。

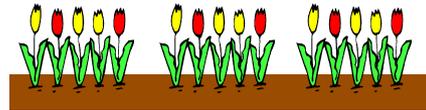
食べれない患者様を見つけて、いつでもどこでもかけつけます。



NST 情報交換と勉強会



総合相談室って何？



Q1 総合相談室って何をするとこですか？

A1 病気にともなう療養生活や家族・仕事・

経済的なご相談や福祉制度 施設の利用

などのご相談を医療ソーシャルワーカー

や看護師がお受けしています。

「医療相談」

患者様やご家族のかかえる

生活上の問題や社会復帰などの相談援助

を行ないます。(医療費や生活費に関する

相談・福祉制度の活用方法について・)

て・)

「在宅医療支援」

患者様ご家族が安心して

家庭で生活できるように退院前から

相談をお受けいたします。また、介護方

法の助言・指導や、訪問看護も行なっています。

います。

Q2 誰が利用できますか？

A2 現在、当院に入院されている方で、退院

後も当院の外来へ通院される方もしく

は、当院の外来へ通院中の方

Q3 利用するにはどうすればよいでしょう？

う？

A3 ご相談内容により予約が必要な場合

があります。まず、あなたに関わっ

ている医師、看護師、などの医療ス

タッフにお尋ねください。または直

接 総合相談室におこしください。

受付時間

平日 9時～12時

13時～15時

Q4 相談するのに料金はかかるの？

A4 相談料金はかかりません。お気軽に

おこしください。

Q5 どこにあるの？

A5 正面玄関入ってすぐ右横にあります。



◆◆こんなときは総合相談室へどうぞ◆◆

医療費はどうなるのだろうか？

介護保険制度について知りたい

年金・手当のことがよくわからない

身体障害者手帳があればどのような制度が利用できるのだろうか？

在宅での介護や機能訓練について不安がある

仕事など、これからの生活にたいして不安がある

住宅の改造や工夫を行いたい

車いすなどの補具は どうしたら給付されるのだろうか？

心配や不安があるが、誰に相談してよいかわからない

**総合相談室では、このほかにも
さまざまな相談に応じています。**

お気軽におこしください。プライバシーは厳守します。

こどもの日 ~新緑の季節を迎えて~

「こどもの日」は、子供たちの健やかな成長を願う祝日です。さわやかな風の中、青空を元気に泳ぐ「こいのぼり」は、私たちの気持ちにも力を与えてくれます。



<お献立>

- ・ 散らし寿司
- ・ 若竹汁
- ・ がんもどき煮物
- ・ 柏餅
- ・ オレンジ

1食分 - 795kcal

病院の食事は「治療に貢献する」ことはもちろん「単調な入院生活に潤いを与える」という役割があります。当院では患者様に四季折々の季節を感じていただくため、年間33回、メッセージカードを添えての行事食を行っています。患者様の入院生活を少しでも快適なものにしていただくため、真心を込め、見て楽しみ、食べて喜べる食事作りに努力しています。これからも患者様の1日も早い回復を願って、食事作りに励んでいきたいと思えます。

食事療養のための料理教室へどうぞ！

「いっしょに作って、食べてみませんか？」



糖尿病、高血圧、高脂血症などの方を対象に、エネルギーを控えた減塩味で体に優しい、そんな料理教室を行っています。

料理作りを通して食事療法への前向きな気持ちと、自信が生まれることを願っています。

また、患者様同士、患者様と栄養士のコミュニケーションが深まり、病気への不安を解り合える教室にしたいと思っています。楽しく作って、美味しく食べて、共に食事療法に取り組んでいきましょう。

なお、食事療法の継続を目指して、患者様個々の食習慣に基づいた**栄養相談**も行っております。

料理教室と合わせて、主治医を通してお申し込み下さい。

(栄養室 内線2251)